

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	テレワーク推進事業、DX関連事業
概要	コロナ禍を契機として導入したテレワーク制度について、今後システムの更改を行うに当たりより良い制度とするための技術的なご助言をいただくとともに、デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する外部評価や課長級職員に対する自治体フロントヤード改革とDX推進についての研修を実施していただくもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和7年2月19日	支援・助言	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した2事業（以下「デジ田交付金事業」という。）について、今後より良くなっていくための助言（フォローアップ）をいただくとともに、他の自治体の好事例等をご紹介いただいた。また、行政手続のオンライン化やデジタル人材の育成などの行政DXを進める上での本市の課題に対して、丁寧にご助言をいただくことができた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きDX推進のための各種事業の諸課題への対応についてご指導ご助言いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	デジ田交付金事業については、職員や委託事業者だけで事業のフォローアップを進めているため、客観的な視点や改善点に対する評価ができない状況にある。外部の有識者として事業の内容を確認いただき、内容について評価いただきたい。また、行政手続のオンライン化やデジタル人材の育成といった諸課題に対して、今後どのような方向性で進めていくべきか、どういった方法が効果的かなどを職員だけで検討することは困難なため、ご助言いただきたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジ田交付金事業について、外部の有識者の立場から、実施状況の確認や評価に対する意見をいただき、事業をより良いものにする。また、DX関連の諸課題に関し、ご指導・ご助言をいただき、今後の方向性や取組に反映することで、効果的なDX推進につなげられるようにする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジ田交付金事業について、市の担当者から説明するとともに内容について市の役割や事業の改善点、他の事例紹介などをご助言いただいた。 デジ田交付金事業のフォローアップ後、DX推進(主に行政手続のオンライン化やデジタル人材の育成、外部人材の活用、今後のDX推進計画の役割など)についての市の持つ疑問点に対し具体的かつ丁寧に解説いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジ田交付金事業について客観的な視点から今後の進め方に対し、実例やアイデアが多く示唆に富んだ具体的な指摘をいただくことができたため、今後の事業を推進するにあたり、非常に参考となった。また、DX推進については、行政手続のオンライン化の次期指標設定の考え方やデジタル人材育成の進め方等のご助言をいただき、今後のDX推進において参考となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にデジタル人材の育成や外部人材の活用については、DX推進部門だけでなく、関係部門と協議しながら、全庁的な視点で検討していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進事業のフォローアップやデジタル人材育成を通じて、各部署が自律的かつ主体的にDX推進に取り組み、全庁的にDXが推進されている状態。また、市民がデジタル技術を活用し、便利で負担なく行政サービスを受けることができる状態。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

